

1 学 年 通 信 「cooperation」 (HP同時配信)

◆ 進路相談会 in 栗山 ◆

11月13日(水)に栗山町で行われた「進路相談会」に参加しました。本校は1・2学年の生徒がバスで現地へ赴き、自分の興味・関心がある学校や職場等のブースをそれぞれがまわって資料等をもらい、担当者から説明やレクチャーを受けていました。事前にどのブースに行くかを各自で決めておくように伝えていたので、スムーズに進めることができた生徒が多かったと思います(少し迷っていた人もいましたが)。高等学校での進路指導は1年生から始めないと、どんどん時間がなくなっていくと思います。進路目標が未定という人は日常から情報を集めて、目標決定のために努力しましょう。

● 人とのつきあい ●

私は約59年生きてきた。その間にたくさんの人と出会いがあり、たくさんの人との別れもあった。この別れ方はいろいろあり、①(自分または相手が)転勤や引っ越しをした②相手がお亡くなりになった、③何らかの理由で仲違いした、が多かったと思う。①は今の時代なら各種の手段や方法で連絡やオンラインなどが可能だが、②はもうお目にかかることはない。③が難しいケースで、片方だけの想いだけでは連絡等をしないため、そのままになっている人がほとんどである。また、相手が遠くにいてほぼ会うことがない人もいれば、割と近くにいて顔を合わせることが多い人もいる。

どんな場合でも考慮しなければならないことは、相手を不愉快にしたり、傷つけたりしてはいけない、ということだと思う。もちろん感情があるから自分を思うようにコントロールできないこともあるが、相手に無礼な態度や言動をしても自分にとって全くプラスにならない(つまらない自己満足で自分に災いとして跳ね返ってくる)。これは高校生の皆さんにとっても同じである。いじめの問題もそうだが、何かにつけて自分のことだけを優先し、相手を卑下したり見下したりすることに、何の意味があるのだろうか?と思う(もちろん私は聖人君子ではないから、人のことを言える立場にないかも知れないが)。もし、皆さんがそのような状況になったのなら、いったん立ち止まって考えてほしい。今後の人生のために、また人として成長するためにどうしたら良いか?それを意識した日常の言動をしてほしい。それがいずれ自分のためになることがわかる時がくる、と思う。

仮にうまくいかずに「失敗したなあ」とか、「自分が悪かったなあ」と思ったら、素直に謝ればいい。すぐには許してもらえないかも知れないが、そのままにしておくよりはずっといい、と思う。人間なんだからうまくいかないこともあれば、失敗することだってある。お互いにそれを認めあえたり、許容したりすることができれば、ちょっといい人生を送ることができると思うから。



◎ (もう一度伝えるが) 考査準備しっかり ◎

中間考査まで準備時間が少なくなってきました。各自の計画及び学習は進んでいますか?弱点克服(いわゆる赤点を取らない取り組み)に励んでいますか?前通信でもお伝えしましたが、全く準備をしない(いわゆるノー勉)で臨むと、間違いなく悲惨なことになります。そんな経験をしたいですか?楽しくない冬季休業を迎えたいですか?今できることはすぐ取り組んでください。全ては自分のためです。進級や卒業を無事にして、自分の進路目標を実現させる、そのために私たち教職員は日頃から皆さんに(口うるさく)伝えているのです。あとは皆さんがどう取り組むか?にかかっています。